

中期取組目標実現に向けた「三つのプラン」

学校教育目標

であい ふれあい ひびきあい
○基礎・基本の確実な定着を図り、自ら学び続けようとする子を育てます。(知)
○人権教育を推進し、みんなが安心して豊かに生活をしようとする子を育てます。(徳)
○自らの健康や安全に関心をもち、健やかでたくましい体をつくろうとする子を育てます。(体)
○家庭・地域・学校が連携を深め、地域・社会に積極的にいかかわろうとする子を育てます。(公)
○様々な人とのふれあいを通して、自らの考えや視野を広げようとする子を育てます。(開)

教育課程全体で
育成を目指す資質・能力

Table with 2 columns: 言語能力, 具体化した資質・能力. Includes sub-points like 伝える内容を明確にする力, 感じたこと、考えたことを言葉にする力.

中期取組目標

○一人ひとりの思いを大切にし、多くの人とのかかわりや体験的活動を通した主体的な学びの充実を図ります。
・一人ひとりが自分の思いを表現できる授業づくりを推進します。
・地域や家庭、関係諸機関と連携し、いろいろな人とのかかわりから、自他のよさをとらえる力を育みます。
・学習経験や体験活動を活かし、自ら課題解決する力を育てます。
○自らの健康や安全に関心をもち、健やかでたくましい心と体づくりの充実を図ります。
・仲間づくりを通して、互いのよさを認め合い、楽しい学校生活が送れるようにします。
・体力アップ活動を通して、自分の体力を向上させようという意欲を高めます。

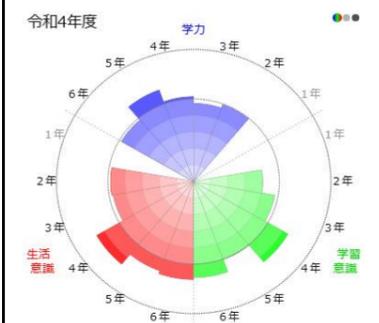
学力向上アクションプラン

Table with 2 columns: 重点取組分野, 具体的取組. Main focus: 主体的な学び. Includes text about learning plan and research themes.

学力向上に関わる本校の状況

(1)学力に関わる児童生徒の実態
令和4年度横浜市学力・学習状況調査の学力に関しては、学年により若干の差はあるものの、おおむね横浜市の平均の学力を示していると言える。学習意識・生活意識に関しては、高学年は市の平均を上回っている学年が多く、低学年は平均程度か少し下回っている学年が見られる。

(2)これまでの学校の取り組み状況
週3回程度、朝の15分間を学習の定着を図る時間として設定してきた。また、水曜日の5時間目を30分とし、基礎学力定着の時間に設定している。



今年度の目標

主体的に問題解決に取り組み、分かる喜びを得られる子の育成
～ICTを活用した授業づくりを通して～

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期
・重点研究において、研究主題を「主体的に問題解決に取り組み、分かる喜びを得られる子の育成」、副主題を「ICTを活用した授業づくりを通して」として、各学年で1名が研究授業を行う。
・横浜市の学力学習状況調査の結果を分析したことを研究授業に生かしたり、単元を通して学年の教員全員が公開授業や研究授業を行ったりすることで、どの学級でも授業改善が行われるようにする。
・水曜日の5時間目を30分間授業とし、国語や算数を中心とした学習の定着、習熟を図る活動をするようにする。
下半期
・上半期に続き、重点研究において、研究主題を「主体的に問題解決に取り組み、分かる喜びを得られる子の育成」、副主題を「ICTを活用した授業づくりを通して」として、各学年で1名が研究授業を行う。
・横浜市の学力学習状況調査の結果を分析したことを研究授業に生かしたり、単元を通して学年の教員全員が公開授業や研究授業を行ったりすることで、どの学級でも授業改善が行われるようにする。
・水曜日の5時間目を30分間授業とし、国語や算数を中心とした学習の定着、習熟を図る活動をするようにする。特に高学年は、児童自身が計画を立てて学習する時間となるようにする。

豊かな心の育成推進プラン

Table with 2 columns: 重点取組分野, 具体的取組. Focus: 道徳教育. Includes text about moral education and staff assignment.

豊かな心に関わる本校の状況

(1)豊かな心に関わる児童の実態
本校は、「黄色いベストさん(登下校の見守り)」「スマイルボランティア」など、地域や保護者の方々が多数ボランティアに参加していただき、その方々と連携をして児童を育てられる環境にある。
(2)これまでの学校の取り組み状況
・スマイル班活動や全校遠足を中心としたスマイル班活動(縦割り班活動)を通し、自他のよさに気づき、思いやりの心を育むようにしてきた。
・人権週間では、外部講師を招き、障がい者の方に対する理解を深め、どのように関わっていったらよいかを考えるよい機会となった。
・教科の学習や活動に、広く地域の方に関わっていただき、豊かな体験をすることができた。

今年度の目標

①児童の実態に合わせた道徳の授業を展開し、学校全体で豊かな心を育むようにする。
②スマイル班活動や人権週間の活動を通し自他のよさに気づき、思いやりの心を育む。

目標を実現するための具体的行動プラン

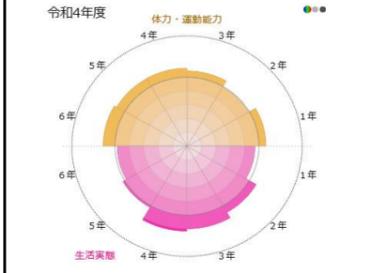
上半期
○授業参観等で、道徳の授業や縦割り班活動の様子を家庭・地域に公開し、児童の様子を地域や保護者の方に広く知っていただくようにする。
○ホームページ等で児童の日々の様子を発信し、地域や保護者の方に興味関心をもってもらえるようにする。
○校外学習や宿泊等体験学習、外部講師を招いた学習等を通して、子どもたちが多くの人と関わりながら主体的に活動することができるようにする。
○年間を通し様々なスマイル班活動を設定し、異学年の児童と関わりを深め、自他のよさに気づき、認め合えるように支援していく。
下半期
○全校遠足では、6年生を中心に計画や準備を進め、リーダー性を育てるとともに、スマイル班の仲がより深まるように支援していく。
○人権週間に、外部機関と連携した活動を取り入れる。そのことで、児童が様々な立場があることを知り、思いやりの心をもてるようにしていく。
○スマイル班会議では、横浜プログラム等に取り組み、楽しみながら他者理解の心が育つよう支援する。

健やかな体の育成プラン

Table with 2 columns: 重点取組分野, 具体的取組. Focus: 健康教育. Includes text about health education and staff assignment.

健やかな体に関わる本校の状況

(1)健やかな体に関わる児童の実態
○横浜市体力・運動能力調査の結果から、20mシャトルランが市の平均を下回っている。特に高学年になるにつれ大きく差が開いているが昨年よりも市の平均に近づいてきている。
○姿勢の保持ができない児童や、生活習慣の中でも不規則な睡眠が気になる児童が増えている。



(2)これまでの学校の取組状況
○体育科では、体づくり運動(遊び)の指導において様々な運動を経験するようにし、体の柔軟性を高めることができるようにしてきた。
○体育委員会が中心になってドッジボール大会や長縄大会、体力アップビンゴ(外遊び)など、児童の意見を反映させた取組を実施してきた。
○保健領域において、朝食、姿勢の大切さを指導してきた。

今年度の目標

○体力アップ遊びを通して校庭で遊ぶ児童の数を増やし、体力の向上を図る。
○児童一人一人が自身の生活を見直し、心の健康を高め、課題に前向きに挑戦しようという意識を高める。

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期
○楽しみながら体力の向上が図れるように、中休みに体育委員会を中心に体力アップ遊びの企画を運営する。
○運動を通して自分の思いや考えを表現できる力を育成するために、体育科の授業でiPadや学習カードでロイロノートを使ったり、お互いにアドバイスし合ったりできる活動を取り入れる。
下半期
○体力アップビンゴでは、児童の意見を反映させることで、意欲的に体力アップが図れるようにしていく。
○運動を通して自分の成長や友達やクラスの成長が実感できるように、体育委員会が中心になり、長縄大会を実施する。
○後期も引き続き、運動を通して自分の思いや考えを表現できる力を育成するために、体育科の授業でiPadや学習カードでロイロノートを活用する。また、お互いにアドバイスし合ったり、自分の活動の振り返りをしたりして、自身の力を知り、体力向上のためにできる活動を取り入れようとする意識を高める。
○第2回学校保健委員会までの期間、実態に応じて心の健康について学級で考える機会を設定し、家庭と連携してしなやかな心の育成を実践する。